平成24年度 財政状況資料集

蚣任主 (士町廿)

								指定団体等	の指定状況		区分	平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・9
	都道府県名	新	渴県	市町	丁村類型	п -	0	11 JE DIFF	o) in C iv.//	歳入総額		40, 844, 989	35, 977, 683	実質収支比率		5. 4	
								財政健全化等	×	歳出総額		39, 695, 378	34, 570, 969	経常収支比率		87. 7	
								財源超過	×	歳入歳出差	3 I	1, 149, 611	1, 406, 714	(%1)		(96.4)	(9
	市町村名	瀬	市	地方交	を付税種地	1-	4	首都	×	翌年度に繰	越すべき財源	142, 392	226, 496	標準財政規模		18, 554, 013	18, 297
								近畿	×	実質収支		1, 007, 219	1, 180, 218	財政力指数		0. 68	
		22年国調(人)	81, 876	6				中部	×	単年度収支		-172, 999	167, 574	公債費負担比率		12.5	
	人口	17年国調(人)	83, 269	9	i	産業構造(※5)		過疎	×	積立金		1, 702, 006	1, 947, 311	健全化判断比率			
		増減率 (%)	-1. 7	7				山振	×	繰上償還金		-	-	実質赤字比率		-	
		25. 03. 31 (人)	82, 867	7 [区分	22年国調	17年国調	低開発	0	積立金取崩	し額	899, 155	790, 815	連結実質赤字比率		-	
		うち日本人(人	82, 502	2	第1次	1, 600	2, 043	指数表選定	0	実質単年度	収支	629, 852	1, 324, 070	実質公債費比率		13.5	
住	民基本台帳人口	24. 03. 31 (人)	82, 862	2 9	新I次	3. 9	4. 5							将来負担比率		133. 8	1
	(※7)	うち日本人()	82, 862	2	第2次	17, 461	20, 277			基準財政収	入額	8, 737, 198	8, 724, 300	資金不足比率 (※4)			
		増減率 (%)	0.0) 7	新 2 次	42. 5	44. 8			基準財政需	要額	12, 940, 165	12, 825, 220				
		うち日本人(9	6) -0.4	4	atro-ter	22, 032	22, 784			標準税収入	額等	11, 271, 968	11, 190, 262				
	面積(km)		110. 94	4	第3次	53. 6	50.3			経常経費充	当一般財源等	16, 741, 174	16, 459, 442				
人	口密度(人/k㎡)		738	3						歳入一般財	源等	24, 575, 557	23, 408, 767				
	世帯数 (世帯)		26, 653	3						1							
		-		職	員の状況			-									
			1人あたり平均				職員数	給料月額	1人あたり平均	1							
	区分	定数	給料月額(百円)			区分	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在	ä	42, 237, 855	36, 878, 135	1			
	市区町村長	1	8, 112	2	一般職員	i	559	1, 741, 285	3, 115	うち公的	資金	14, 570, 849	14, 527, 027				
特	副市区町村長	1	6, 163	3 —	うち消	肖防職員	-	-		债務負担行	為額(支出予定額)	2, 051, 128	2, 214, 239	1			
別職	教育長	1	5, 830		うち技	支能労務職員	45	129, 060	2, 868	収益事業収	λ	-	-				
等	議会議長	1	3, 589	9	教育公務	务員	16	42, 400	2, 650	土地開発基	金現在高	649, 928	648, 995				
	議会副議長	1	2, 977	7	臨時職員	i	-	-		-	財政調整基金	3, 613, 827	2, 810, 976	1			
	議会議員	22	2, 832	2	合計		575	1, 783, 685	3, 102	積立金 現在高	減債基金	308, 320	897				
					ラスパィ	イレス指数(※6)		101. 0	(93. 3))	その他特定目的基金	1, 538, 372	1, 780, 997				
一般: 項番	会計等の一覧	会計名	事業項	美会計の一! 番	覧	会計名		公営企業(法適)項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番 全	会計名	関係する一部事務組 項番	合等一覧 組合等名	地方公社・第3 項番	Eセクター等一覧 団体名	(*
(1)	一般会計		(5)) 国民健康	東保険特別会	≩ #†		(8) 水道事業会計			(9) 公共下水道事業特別会計	l†	(11) 新潟県市町村総	合事務組合 (一般会計)	(21) 県央土地	開発公社	
(2)	土地取得特別会計		(6)) 介護保険	食事業特別会	≩ 計					(10) 企業団地造成事業特別	会計	(12) 新潟県市町村総 (12) 業特別会計)	合事務組合(職員退職手当支給事	(22) 燕三条地	場産業振興センター	
(3)	温泉保養センター特別:	会計	(7)) 後期高齢	命者医療特別	刘会 計								合事務組合(消防団員等公務災害 計)	(23) 燕西蒲勳	労者福祉サービスセンター	
(4)	中越衛生処理組合													合事務組合(消防賞じゅつ金支給	(24) 吉田スポ	ーツ振興事業団	
													(15) 新潟県市町村総 補償等事業特別:	合事務組合(非常勤職員公務災害 会計)	(25) 吉田環境	衛生公社	
													(16) 新潟県市町村総 別会計)	合事務組合(交通災害共済事業特			
													(17) 西蒲原福祉事務。	組合 (一般会計)			
													(18) 新潟県三条・燕 計)	総合グラウンド施設組合(一般会			
													(19) 三条・燕・西蒲 合 (一般会計)	・南蒲広域養護老人ホーム施設組			

- (注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、促全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業精造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国間は分類不能の産業を除っ、平成17年国間は分類不能の産業を含んでいる。 ※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家必務員の時限的な(2年間)結ら指ではよる指置が無いとした場合の値である。 ※7:住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。

平成24年度

新潟県兼市

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の	状況 (単位 千円				地方税の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額		経常一般財源等		区分	収入済額		超過課税分	
地方税	10, 293, 146	25. 2	10, 293, 146	59. 3	普通税	10, 293, 146	100. 0	154, 452	
地方譲与税	364, 047	0.9	364, 047	2. 1	法定普通税	10, 293, 146	100.0	154, 452	
利子割交付金	25, 731	0.1	25, 731	0.1	市町村民税	4, 570, 365	44. 4	154, 452	
配当割交付金	15, 332	0.0	15, 332	0. 1	個人均等割	123, 041	1. 2		
株式等譲渡所得割交付金	3, 735	0.0	3, 735	0.0	所得割	3, 246, 950	31. 5		
地方消費税交付金	870, 597	2. 1	870, 597	5.0	法人均等割	251, 539	2. 4		
ゴルフ場利用税交付金	_	-	_	-	法人税割	948, 835	9. 2	154, 452	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	4, 982, 742	48. 4		
自動車取得税交付金	99, 754	0. 2	99, 754	0.6	うち純固定資産税	4, 976, 891	48. 4		
軽油引取税交付金	· -	-	_	-	軽自動車税	187, 437	1. 8		
地方特例交付金	44, 046	0.1	44, 046	0.3	市町村たばこ税	552, 602	5. 4		
地方交付税	8, 407, 128	20. 6	5, 570, 826	32. 1	鉱産税	-	-		
普通交付税	5, 570, 826	13. 6	5, 570, 826	32. 1	特別土地保有税	_	_		
特別交付税	1, 232, 474	3. 0		-	法定外普通税	_	_		
震災復興特別交付税	1, 603, 828	3. 9	_	_	目的税	_	_		
(一般財源計)	20, 123, 516	49. 3	17, 287, 214	99. 5	法定目的税	-	-		
交通安全対策特別交付金	14, 693	0. 0	14, 693	0. 1	入湯税	_	_		
分担金・負担金	173, 532	0.4	-	_	事業所税	_	_		
使用料	671, 406	1. 6	45, 554	0.3	都市計画税	_	_		
手数料	82, 172	0. 2	-	-	水利地益税等	_	_		
国庫支出金	2, 961, 381	7. 3	_	_	法定外目的税	_	_		
国有提供交付金(特別区財調交付金)		7.0	_	_	旧法による税	_	_		
都道府県支出金	2, 461, 735	6. 0	_	_	合計	10, 293, 146	100.0	154, 452	
財産収入	205, 775	0.5	20, 621	0. 1		10, 200, 110	100.0	101, 102	
寄附金	23, 393	0. 1		-	区分	平成24年度	3	平成23年度	
繰入金	1, 246, 120	3. 1	_	_				98.6 94.1	
繰越金	1, 406, 714	3. 4	_	_	倒収率 現 . 計 古町廿巳珆			98. 9 95. 0	
諸収入	3, 402, 252	8. 3	64	0.0	(%) 年・計 中町村氏税 純固定資産税			98. 3 92. 9	
地方債	8, 072, 300	19. 8	_	-	一	00.0	02.0	00.0 02.0	
うち減収補塡債(特例分)	- 0, 072, 000	-	_	_	公営事業等への繰出	国民健康	E保険事業会 計	tの状況	
うち臨時財政対策債	1, 711, 200	4. 2	_	_	合計 3,553,276			165, 965	
歳入合計	40, 844, 989	100.0	17, 368, 146	100.0		再差引収支		76, 311	
MMZ > HI H (10, 011, 000	.00.0	17,000,140	.00.0		加入世帯数(世帯))	11, 202	
					工業用水道 -	被保険者数(人)	•	20, 323	
					交通 -	CIRIP	税(料)収入額		
					国民健康保険 417,727	恢体陕伯	支出金	88	
					その他 1,781,993		給付費	269	
(注面)					1,701,000		TH 17 5	200	

()-	L粎)	
	***	١æ

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

	歳出の		位 千円・%)			
	目的別歳と		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	註事業費	(A)のうち充	
議会費	202, 488	0. 5		-		202, 488
総務費	7, 809, 393	19.7	3	, 668, 551		3, 879, 138
民生費	9, 906, 050	25. 0	1	, 031, 879		5, 246, 954
衛生費	3, 847, 326	9.7		120, 214		3, 477, 724
労働費	63, 359	0. 2		2, 409		55, 894
農林水産業費	813, 480	2. 0		413, 769		459, 069
商工費	3, 635, 911	9. 2		4, 958		508, 109
土木費	3, 630, 175	9. 1	1	. 330, 001		2, 715, 439
消防費	1, 434, 456	3. 6		64, 636		1, 394, 734
教育費	5, 189, 272	13. 1	2	. 838, 943		2, 397, 265
災害復旧費	30, 076	0. 1	-	-, 555, 5.5		24, 457
公債費	3, 133, 392	7. 9		_		3, 064, 675
諸支出費	0, 100, 032	7. 5		_		0, 004, 070
前年度繰上充用金	_	_		_		_
前午及株工九州並 歳出合計	39, 695, 378	100.0	C	, 475, 360		23, 425, 946
жшын	03, 030, 070	100.0	,	, 470, 000		20, 420, 340
	性質別歳と	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	12, 335, 081	31. 1	9, 024, 971		8, 463, 292	44. 4
人件費	4, 530, 772	11.4	4, 001, 696		3, 910, 142	20. 5
うち職員給	2, 967, 141	7. 5	2, 488, 483		_	-
扶助費	4, 670, 917	11.8	1, 958, 600		1. 488. 475	7. 8
公債費	3, 133, 392	7. 9	3, 064, 675		3, 064, 675	16. 1
元利償還金	3, 132, 476	7. 9	3, 063, 759		3, 063, 759	16. 1
内 うち元金	2, 712, 580	6.8	2, 646, 636		2, 646, 636	13. 9
訳しうち利子	419, 896	1.1	417, 123		417, 123	2. 2
一時借入金利子	916	0.0	916		916	0.0
その他の経費	17, 854, 861	45.0	13, 402, 583		8, 277, 882	43. 4
物件費	3, 907, 832	9. 8	3, 188, 383		2, 528, 119	13. 3
維持補修費	294, 549	0. 7	276, 027		276, 027	1. 4
補助費等	4, 832, 740	12. 2	4, 630, 444		2. 433. 074	12.8
うち一部事務組合負担金	3, 465, 694	8. 7	3, 420, 340		1, 597, 059	8. 4
繰出金	3, 551, 128	8. 9	3, 266, 371		3, 040, 662	15. 9
積立金	2, 113, 708	5. 3	2, 035, 738		- 0, 010, 002	-
投資・出資金・貸付金	3, 154, 904	7. 9	5, 620		_	_
前年度繰上充用金	3, 134, 304	7.5	3, 020			
投資的経費計	9, 505, 436	23. 9	998, 392			
	173, 330	0. 4	173, 330			
一 プラス 行員 普通建設事業費	9, 475, 360	23. 9	973, 935			
うた補助	3, 066, 789	7.7	27, 865			
M = + 出 xth	6, 271, 101	15. 8	859, 096			
	30, 076		24, 457			
災害復旧事業費	30, 076	0. 1	24, 457			
失業対策事業費 歳出合計	39, 695, 378	100. 0	23, 425, 946			
MX LLI LLI	00, 000, 070	100.0	20, 420, 340			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

放五百年07州以下(十四:日7)11/								
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	40,767	39,623	1,145	1,002	1,246	42,099		1
2 土地取得特別会計	44	44	-	-	22	-		
3 温泉保養センター特別会計	83	78	5	5	15	139		
4 中越衛生処理組合	6	6	-	-	-	-		
5								1
6								1
7								1
8								1
9								1
10								1
11								1
12								
13								
14								1
15								1
16								
計一般会計等(純計)	40,845	39,695	1,150	1,007		42,238		Ī

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
国民健康保険特別会計	8,406	8,240	166	166	418	-	-	-	
2 介護保険事業特別会計	6,982	6,720	261	261	973	-	-	-	
後期高齢者医療特別会計	630	611	19	19	147	-	-	-	
水道事業会計	1,482	1,221	262	1,449	2	3,127	-	-	法適用企業
公共下水道事業特別会計	3,030	2,939	91	91	1,351	21,559	18,002	-	法非適用企業
企業団地造成事業特別会計	5	1	5	5	-	-	-	-	法非適用企業
7									
3									
0									
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
0									
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
0									
1									
2									
3									
4									
5									
+ 公営企業会計等				1,990		24,686	18,002		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

(単年度) (3ヵ年平均)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	新潟県市町村総合事務組合(一般会計)	392	346	46	46	82	-	-	
2	新潟県市町村総合事務組合(職員退職手当支給事業特別会計)	8,510	8,459	51	51	1,917	-	-	
3	新灣東市町村総合事務組合(消防団員等公務災害補償事業特別会計)	1,527	1,508	19	19	-	-	-	
4	新潟県市町村総合事務組合(消防賞じゅつ金支給事業特別会計)	11	11	1	1	-	-	-	
5	新潟県市町村総合事務組合(非常動職員公務災害補債等事業特別会計)	15	10	6	6	-	-	-	
6	新潟県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)	1,350	1,345	5	5	635	-	-	
7	西蒲原福祉事務組合(一般会計)	473	464	9	9	-	157	47	
8	新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合(一般会計)	45	41	3	3	-	22	10	
9	三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合(一般会計)	233	227	6	6	0	7	-	
10	燕·弥彦総合事務組合(一般会計)	5,237	5,232	5	5	-	1,369	1,260	
11	新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2,757	2,690	67	67	4	-	-	
12	新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	244,623	241,209	3,414	3,414	4,100	-	-	
13									
14									
15									
16			•						
17			·						
18									
19									
20									
āt	一部事務組合等				3,632		1,555	1,317	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		正味財産	出資金	補助金	貸付金	係る債務残高			
	県央土地開発公社	▲ 11		2	-	-	2		-	
_	燕三条地場産業振興センター	16		10	125		-	185	185	
_	燕西蒲勤労者福祉サービスセンター	1		53 100	14		_	-	-	
	吉田スポーツ振興事業団 吉田環境衛生公社	1 4		150	-			-	-	
3	ロ山珠児用エムに	7	200	13						
7										
3										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
1										
2										
3										
4										
5										
6						·				
7										
8										
9										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7				-				-		
В										
9										
0										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
'8										
9										
0										
2										
	 - 方公社・第三セクター等							185	185	

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、〇印を付与している。

	実質公債費比率 (千円・%)										将	来負担比率	(千円	•%)				
	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		Z	分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		内訳	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比
利	償還金	3,052,364	2,945,078	3,132,476	19.6	将来負担額	一般会計等に係	系る地方債の現在高		35,299,689	36,878,135	42,237,855	264.4	PFI:	事業に係るもの	-	-	-	
債	基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為	に基づく支出予定額		1,537,320	1,309,225	1,136,573	7.1	いれ)ゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	
Œ	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等網	操入見込額		16,719,129	18,125,337	18,001,500	112.7	国営	営土地改良事業に係るもの	334,259	278,014	224,205	1
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,138,320	1,148,337	1,190,544	7.5		組合等負担等	見込額		864,415	1,194,548	1,318,634	8.3	債 森村	木総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	560,137	232,099	156,789	1.0		退職手当負担	見込額		6,527,798	6,695,228	6,230,175	39.0	付負 地方	ち公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
E.	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	235,344	231,346	219,998	1.4		設立法人等の負	負債額等負担見込額	į	246,753	209,632	184,809	1.2	担依刺	頁土地の買い戻しに係るもの	15,008	7,344	1,768	C
È	一時借入金の利子	1,876	-	916	0.0		連結実質赤字額	額		-	-	-	-	為社会	会福祉法人の施設建設費に係るもの	947,195	858,087	768,933	4
	合計 (A)	4,988,041	4,556,860	4,700,723			組合等連結実質	質赤字額負担見込額	i	-	-	-	-	損失	・補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	内訳	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		合計		(E)	61,195,104	64,412,105	69,109,546		引き	受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当可能基金			4,495,923	4,711,184	5,600,904	35.1	その)他上記に準ずるもの	240,858	165,780	141,667	0
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	M W 4	充当可能特定的	歲入		237,954	177,979	116,689	0.7		公共下水道事業特別会計	16,714,506	18,125,337	18,001,500	112
吉	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	56,245	56,245	53,809	0.3		基準財政需要額	領算入見込額		35,480,478	38,975,922	42,006,488	263.0	A 44.7±	企業団地造成事業特別会計	-	-	-	
务	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計		(F)	40,214,355	43,865,085	47,724,081		企業債	等 水道事業会計	-	-	-	
旦	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	116,710	114,795	111,826	0.7	将来負担比	率((E)-(F))/	((C)-(D)) × 100		130.1	129.5	133.8							
Ţ	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-										その他の会計	4,623	-	-	
3	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-										地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
	その他上記に準ずるもの	7,756	60,287	54,129	0.3	健	全化判断比率	平成24年度 早	期健全化	比基準 財政	対再生基準			公社・	生地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	
	利子補給に係るもの	54,633	19	234	0.0	実質	赤字比率	-		12.56	20.00				その他第三セクター等に係る将来負担額	246,753	209,632	184,809	1
定	財源の額 (B	116,005	81,136	68,717		連結	実質赤字比率	-		17.56	30.00		_						
準	財政規模(C	18,589,488	18,297,673	18,554,013		実質	[公債費比率	13.5		25.0	35.0								
λ	公債費等の額 (D	2,466,974	2,432,485	2,581,352		将来	負担比率	133.8		350.0									
	(C)-(D	16,122,514	15,865,188	15,972,661															
e per	公債費比率 (単年度)	14.9	12.9	12.8															

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

新潟県燕市

82.867 人(H25.3.31現在) 実 賞 赤 宇 比 率 うち日本人 82,502 人(H25,3,31現在) 連結宴曾未早比率 - % 110.94 km² 実 質 公 債 費 比 率 13.5 % λ 推 40.844.989 千円 133 8 96 李 鲁 相 比 塞 39 695 378 千円 隹 出 数 蜇 型 H20 II-2 H21 II-2 H22 II-2 類 實収 1.007.219 千円 H23 II-O H24 II-O 標準財政規模 18.554.013 千円 **地方懂现在高** 42, 237, 855 千円

● 当該団体値 類似団体内平均値 ▼ 類似団体内の 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
- ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補格費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、泥職会は含まない。
- ※住民基本会議法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本会議登載人口については、外国人住民を含む。

財政力 財政力指数 [0.68] 1.50 1.34 1.20 0.84 0.90 0.66 0.60 0.30 0.26 0.00

H22

H20

50,000

100 000

150,000

200,000

250.00

300.000 350,00

H21

102.784

105,307

相似团体内侧位 18/40 全国平均 新潟県平均 0.49 0.51

財政力指数の分析機

財政力指数(単年度)はH20から下降し続け、H24財政力指数(3か年平均) は前年度比0.02減の0.68となった。長引く円高の影響等による景気低迷によ り、法人市民税などの市税収入が減少したことが大きな要因となっている。 このため、企業収益を増大させるような緊急的・効果的な事業を峻別し行う とともに、市税の徴収業務を強化し税収増加による歳入の確保に努める。

財政構造の弾力性 経常収支比率 [87.7%]

H23

H24



人件費・物件費等の状況

102.648

105,722

112,378

126 868

類似団体内順位 21/40

全国平均 89.8

経常収支比率の分析圏

前年度から0.8%増加し、87.7%となったが、類似団体とほぼ同水準となって いる。扶助費や公債費等の増加が経常的経費の増加要因となっている。数 値改善を図るため、引き続き退職者補充の抑制等による人件費の削減や行 政改革大綱実施計画に基づく行政コストの削減、自主財源の確保を着実に 実施し、さらなる行政改革に取り組む。

類似団体内順位

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [100.920円]

74,285

100.920

128,637

269,462

全国平均 116.454

新潟県平均

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析器

全国・県・類似団体平均を下回り良好な状態である。引き続き、人件費に ついては定員適正化計画に基づく退職者補充の抑制等による人件費の抑 制、物件費については、幼稚園・保育園の適正配置等の施設の統廃合を推 進し施設管理費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [133.8%]



着似团体内侧位 30/40

全国平均 ROO 100 1

甲来貴担比率の分析欄

全国・類似団体平均を大きく上回る状況である。新市建設計画事業の実施 による合併特例債発行など地方債の現在高の増嵩が将来負担額を増加さ せているためである。合併特例債が活用可能な期間に将来に渡って必要な 投資を集中的に行うが、それ以後の建設事業の実施にあたっては、財政見 通しに合わせ抑制するとともに、財政調整基金及び減債基金の積立による 充当可能基金の増加を図り、財政の健全化・基盤強化に努める。

公債費負担の状況

H22

H20

H21

H23

H24

実質公債費比率 [13.5%]



箱似团体内槽位 33/40

全国平均

新潟県平均 132

実置公債費比率の分析機

前年度から1.0%減少したものの全国・県・類似団体平均を依然上回る状況 である。今後は合併特例債の据置期間が終了し元金の償還が開始するな ど元利償還金額の増嵩が見込まれるため、今後の建設事業の実施にあ たっては財政見通しに合わせ抑制し、起債に大きく頼ることのない財政運営 に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.94人]



類似团体内膜位 15/40

全国平均

新潟県平均 8 58

人口千人当たり職員数の分析機

全国・県・類似団体平均を下回る状況である。引き続き、定員適正化計画 に基づく退職者補充の抑制等や、指定管理者制度、幼稚園・保育園の適正 配置を含めた施設の統廢合・民営化を推進し職員数を削減するなど適切な 定員管理に努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [101.0]



類似团体内層位

全国町村平均

ラスパイレス指数の分析機

全国・県・類似団体平均を下回る状況である。引き続き、給与・各種手当の 適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普诵会計決算)

平成24年度

新潟県燕市

経営収支比率の分析

82,867 人(H25.3.31現在) うち日本人 82 502 人(H25 3 31理在) - % 110,94 km² 寒雪公僧者比率 13.5 % 入業 40.844.989 千円 担比 133.8 % 39,695,378 千円 曹 版 1.007.219 千円 H20 II-2 H21 II-2 H22 II-2 支) H23 II - O H24 II - O 18,554,013 千円 地方懷現在高 42,237,855 千円

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。

人件費 15.0 18.5 180 21.0 23.2 24.0 23.6 24.3 27.0 26.0 28.8 30.0 33 (H20 H22 H24

類似团体内膜位 全国平均 新潟県平均 23.0

人件費の分析機

前年度から1.3ポイント減少し、全国・県・類似団体平均を下回り 良好な状況である。引き続き定員適正化計画に基づく退職者補充 の抑制等により職員数を適正に保ち人件費の抑制に努める。



面似团体内面位 22/40 全国平均 112 新選展平均

● 当該団体値

◆ 類似団体内平均値

▼ 類似団体内の

扶助者の分析機

全国・県平均・類似団体平均を下回る水準となった。引き続き、単 独事業により措置しているものについては財政状況や他市の状況 を考慮し適正化に努める。



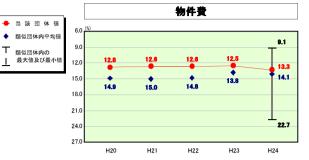
全国平均

新潟県平均 19.5

公債費の分析機

13/40

全国・県・類似団体平均を下回り良好な状況である。今後は新市 建設計画登載事業の実施及び合併特例債の償還開始により公債 費の増嵩が見込まれるため、事業の選択にあたっては必要性・緊 急性を考慮し見直しを行うとともに、建設事業の実施にあたっては 財政見通しに合わせ地方債の新規発行を伴う建設事業の抑制に 努める。



复数团体内置位 20/40

全国平均 13.3 132

物件費の分析機

全国・県平均と同程度であるが、類似団体平均を下回っている。 引き続き、行政改革大綱実施計画に基づき行政コストを削減すると ともに、幼稚園・保育園の適正配置を含めた施設の統廃合を推進 し施設管理費の抑制に努める。



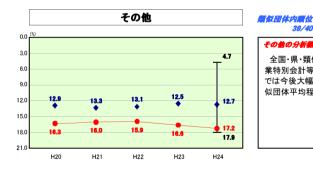
類似团体内膜位 20/40 全国平均

新潟県平均

10.1

補助費等の分析機

全国・県・類似団体平均を上回っている状況である。一部事務組 合(燕・弥彦総合事務組合)への地方債の償還に係る負担金等を 含んでいるため指数が大きくなっているが、一部事務組合への補 助費等を除けば全国等平均と同程度となる。当該負担金は一部事 務組合の斎場建設等の事業の完了に伴い減少する見込みであ る。



全国平均

新選展平均 170

125

その他の分析機

全国・県・類似団体平均を上回る状況となっている。介護保険事 業特別会計等への繰出金に係るものが主な要因である。経年比較 では今後大幅に上昇することはない見込みであるが、全国・県・類 似団体平均程度となるよう適正化に努める。



類似団体内順位

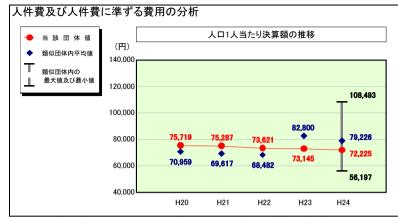
全国平均

新潟県平均 70.3

公債費以外の分析額

県・類似団体平均を上回る状況となっている。平成20年以降減少 し続けており、合併以降取り組んできた退職者補充の抑制等によ る人件費の削減や行政改革大綱実施計画に基づく行政コストの削 減、自主財源の確保の成果であるが、今後も継続して適正化に努 める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人件費及び人件費に準ずる費用

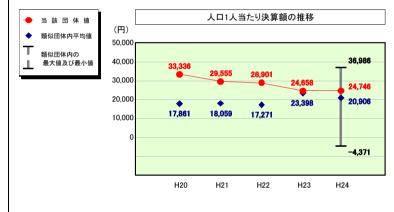
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	預
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4, 530, 772	54, 675	67, 762	▲ 19.3
賃金(物件費)	434, 113	5, 239	5, 758	▲ 9.0
一部事務組合負担金 (補助費等)	1, 232, 900	14, 878	8, 882	67. 5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1, 169	_
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	_
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	157, 487	1, 900	2, 470	▲ 23.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	173, 330	2, 092	1, 435	45. 8
▲退職金	▲ 543, 547	▲ 6,559	▲ 8, 250	▲ 20.5
合計	5, 985, 055	72, 225	79, 226	▲ 8.8

参者

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6. 94	7. 56	▲ 0.62
ラスパイレス指数	101. 0	105. 3	▲ 4.3

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

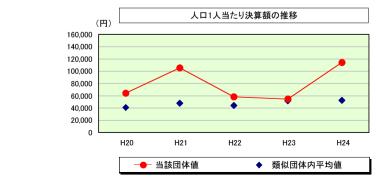


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

<u> </u>	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3, 132, 476	37, 801	45, 322	▲ 16.6
→ (株工良盛競せを称べ) 積立不足額を考慮して算定した額	_	_	-	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	68	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1, 190, 544	14, 367	13, 865	3. 6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	156, 789	1, 892	3, 260	▲ 42.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	219, 998	2, 655	1, 455	82. 5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	916	11	4	175. 0
▲特定財源の額	▲ 68, 717	▲ 829	▲ 4, 339	▲ 80.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	2 , 581, 352	▲ 31, 151	▲ 38, 729	▲ 19.6
合計	2, 050, 654		20, 906	18. 4
ツェボルを存むにすれたみは、た団はっ、 今は前の団はごとの決策に	甘べノ中蛭ハ唐弗は	- 玄も笛山していた	い用体については	ガニった主記し

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

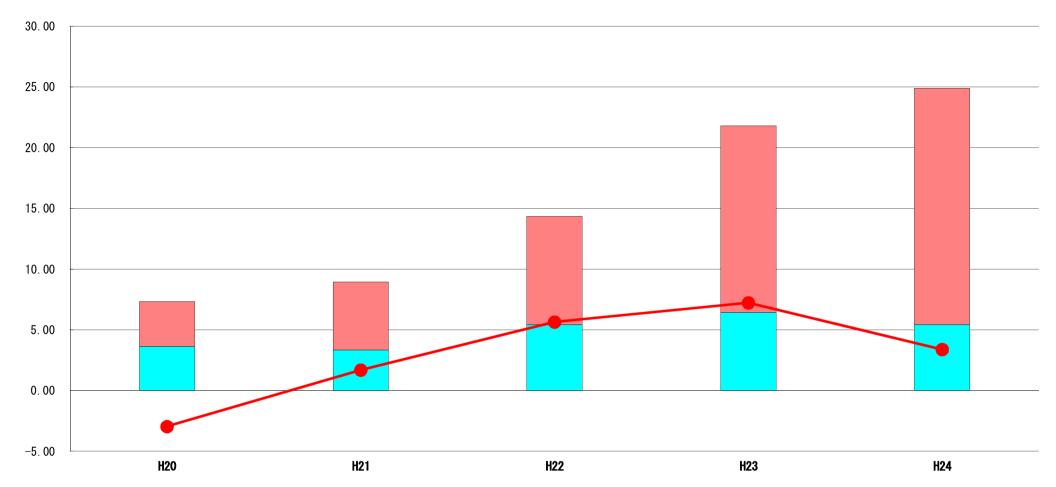
		当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H20		5, 401, 945	64, 351	▲ 10.3	41, 052	▲ 4.1	▲ 6.2	
	うち単独分	2, 141, 617	25, 512	▲ 22. 5	25, 573	2. 1	▲ 24.6	
H21		8, 821, 262	105, 595	64. 1	47, 847	16. 6	47. 5	
	うち単独分	3, 173, 839	37, 992	48. 9	27, 406	7. 2	41. 7	
H22		4, 863, 827	58, 448	▲ 44.6	44, 162	▲ 7.7	▲ 36.9	
	うち単独分	2, 712, 706	32, 598	▲ 14. 2	24, 931	▲ 9.0	▲ 5.2	
H23		4, 541, 037	54, 802	▲ 6.2	51, 704	17. 1	▲ 23.3	
	うち単独分	1, 789, 850	21, 600	▲ 33.7	26, 896	7. 9	▲ 41.6	
H24		9, 475, 360	114, 344	108. 6	52, 678	1. 9	106. 7	
	うち単独分	6, 271, 101		250. 4	30, 185	12. 2	238. 2	
過去5年間平均		6, 620, 686	79, 508	22. 3	47, 489	4. 8	17. 5	
[うち単独分	3, 217, 823	38, 676	45. 8	26, 998	4. 1	41. 7	

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成24年度

新潟県燕市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

			16	**	XX (70)
区分 年度	H20	H21	H22	H23	H24
財政調整基金残高	3. 70	5. 58	8. 90	15. 36	19. 48
実質収支額	3. 65	3. 36	5. 45	6. 45	5. 43
実質単年度収支	▲ 2.96	1. 69	5. 65	7. 23	3. 39

分析欄

【財政調整基金

合併による制度調整について財政調整基金を取崩しながら実施してきたが、その後の制度調整及び新市建設計画の見直しによる効果的・効率的な事業選択を行った結果、財政調整基金の積み増しを行うことができた。

【実質収支

行政改革大綱実施計画に基づく職員のコスト意識の定着により不要な執行を抑制した結果、数値は改善傾向であったが、平成24年度は新庁舎建設事業により減少となった。新庁舎建設により重複コストの削減等、行政改革効果が期待されるが、さらなる行政改革に取り組み健全な財政運営に努める。

【実質単年度収支】

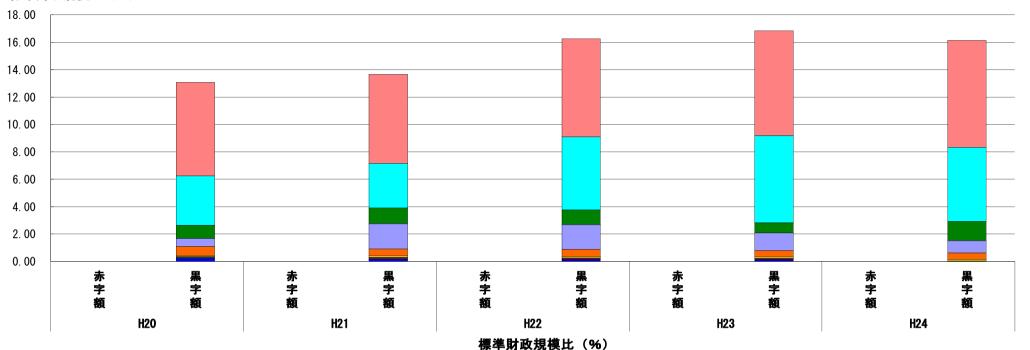
上記の要因により平成24年度は減少となったが、引き続き自主財源の確保と、さらなる行政改革に取り組み 健全な財政運営に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成24年度

新潟県燕市

標準財政規模比(%)



	PW 1 33 - PY 39 D						
 会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24	
	水道事業会計	6. 84	6. 50	7. 15	7. 64	7. 81	
	一般会計	3. 59	3. 24	5. 34	6. 37	5. 40	
	介護保険事業特別会計	0. 96	1. 16	1. 07	0. 75	1. 41	
	国民健康保険特別会計	0. 60	1. 84	1. 82	1. 29	0. 89	
	公共下水道事業特別会計	0. 67	0. 51	0. 54	0. 47	0. 49	
	後期高齢者医療特別会計	0. 08	0. 09	0. 08	0. 09	0. 10	
	温泉保養センター特別会計	0. 06	0. 12	0. 11	0. 08	0. 03	
	企業団地造成事業特別会計	0. 04	0. 04	0. 03	0. 03	0. 02	
	その他会計 (赤字)	-	-	-	-	_	
	その他会計(黒字)	0. 25	0. 16	0. 13	0. 13	0. 00	

分析欄

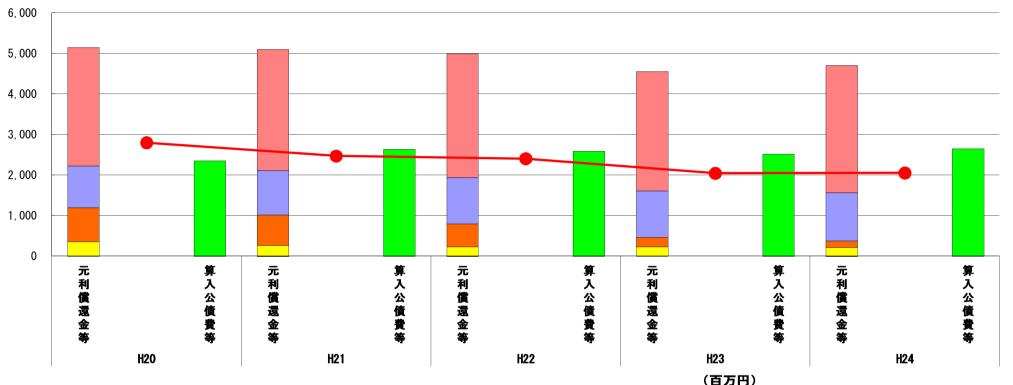
一般会計及び公営事業会計において実質収支等が赤字になったものはなかった。引き続き、健全な財政運営に努める。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成24年度

新潟県燕市

(百万円)



						(H)
分子の構造	年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等(A)	元利償還金	2, 923	2, 987	3, 052	2, 945	3, 132
	減債基金積立不足算定額	1	-	-	_	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		_	-	_	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1, 025	1, 100	1, 138	1, 148	1, 191
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	836	747	560	232	157
	債務負担行為に基づく支出額	361	257	235	231	220
	一時借入金の利子	0	8	2	_	1
算入公債費等(B)	算入公債費等	2, 348	2, 631	2, 583	2, 513	2, 650
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	2, 797	2, 468	2, 404	2, 043	2, 051

分析欄

【元利償還金等(A)】

元利償還金は合併特例債の据置期間終了に伴う 償還開始により年々増加傾向にあるが、その他の 地方債の償還が終了するものが出てくるため大きな 増減はない見込である。

【算入公債費等(B)】

算入公債費について、臨時財政対策債及び合併 特例債に係るものは年々増加傾向にあるが、その 他の地方債に係るものは逆に減少傾向になる見込 みである。

【実質公債費比率(分子)(A)-(B)】

「元利償還金等(A)の増減額」<「算入公債費等(B) の増減額」であるため、今後は大きな増減はない見 込みである。

[※]平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

[※]平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

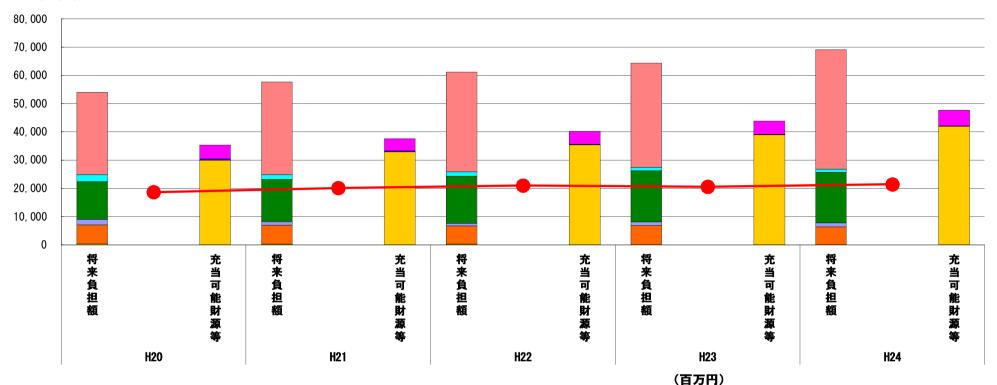
[※]平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成24年度

新潟県燕市

(百万円)



						(11 / 21 / 17
分子の構造	年度	H20	H21	H22	H23	H24
	一般会計等に係る地方債の現在高	29, 089	32, 848	35, 300	36, 878	42, 238
	債務負担行為に基づく支出予定額	2, 497	1, 671	1, 537	1, 309	1, 137
	公営企業債等繰入見込額	13, 380	14, 912	16, 719	18, 125	18, 002
将来負担額(A)	組合等負担等見込額	1, 913	1, 265	864	1, 195	1, 319
	退職手当負担見込額	6, 761	6, 747	6, 528	6, 695	6, 230
	設立法人等の負債額等負担見込額	372	265	247	210	185
	連結実質赤字額	-	-	-	-	1
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	_	_	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	4, 905	4, 267	4, 496	4, 711	5, 601
	充当可能特定歳入	417	333	238	178	117
	基準財政需要額算入見込額	30, 042	32, 993	35, 480	38, 976	42, 006
(A) — (B)	━━ 将来負担比率の分子	18, 649	20, 114	20, 981	20, 547	21, 385

分析欄

【将来負担額(A)】

一般会計等に係る地方債の現在高は、臨時財政対策債、合併特例債の発行により増加傾向、また、公営企業債等繰入見込額は下水道事業における地方債の発行により増加傾向である。今後も全体としてこれら要因により増加する見込みである。

【充当可能財源等(B)】

基準財政需要額算入見込額は、臨時財政対策債、合併特例債の発行により増加傾向にある。その他の地方債の償還が終了するものが出てくるが、今後全体としては前述の要因により増加する見込みである。

【将来負担比率の分子(A)-(B)】

「将来負担額(A)の増減額>充当可能財源等(B)の増減額」であるため、今後は増加する見込みである。財政見通しに合わせ地方債の新規発行を伴う建設事業の抑制に努める。

[※]平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。